

耐震化状況一覧

■中学校施設(木造以外の建物で2階以上又は延床面積200㎡を超える建築物)

(木造の建物で3階以上又は延床面積500㎡を超える建築物)

平成31年4月1日現在

学校名	建物区分	棟番号	建設年月	面積㎡	構造・階数	診断時耐震指標(Is値)	
1 勝田第一中学校 (9棟)	校舎	1	S41.3	4,478	RC3	0.27	耐震化対応済(補強)
		2	S33.3	1で計上	RC3	0.39	耐震化対応済(補強)
	校舎	13	S56.3	1,113	RC3	0.57	耐震化対応済(補強)
	渡り廊下	13'	S56.3	13で計上	RC3	0.52	耐震化対応済(補強)
	校舎	17	S59.3	1,233	RC3	—	新耐震基準(S57年以降)
	渡り廊下	17'	S59.3	17で計上	RC3	—	
	柔剣道場	19	S63.2	676	S1	—	新耐震基準(S57年以降)
	体育館	25	H9.3	1,733	RC2	—	
校舎	26	H27.3	660	S2	—	新耐震基準(S57年以降)	
2 勝田第二中学校 (10棟)	校舎	1	S33.4	1,048	RC3	0.45	H29とりこわし済み
	校舎	2-1	S44.3	1,597	RC3	0.43	耐震化対応済(補強)
	校舎	2-2	S51.3	859	RC3	0.69	耐震化対応済(補強)
	校舎	3	S45.3	1,020	RC3	0.59	耐震化対応済(補強)
	校舎	13-1	S54.3	1,792	RC3	0.65	耐震化対応済(補強)
	渡り廊下	13-1'	S54.3	13-1で計上	RC3	0.71	耐震性あり
	校舎	13-2	S57.3	1,136	RC3	0.80	
	柔剣道場	19	H1.2	574	S1	—	新耐震基準(S57年以降)
	体育館	23	H14.3	1,717	RC2	—	
	校舎	30	H30.2	1,450	RC3	—	
他	24	H14.2	227	RC2	—		
3 勝田第三中学校 (6棟)	校舎	1-1	S41.1	2,070	RC3	0.46	耐震化対応済(補強)
	校舎	1-2	S56.3	1,390	RC4	0.41	耐震化対応済(補強)
	校舎	8	S53.3	1,949	RC3	0.54	耐震化対応済(補強)
	体育館	14-1	H27.8	1,579	R2	—	新耐震基準(S57年以降)
	柔剣道場	11	H1.2	680	S1	—	新耐震基準(S57年以降)
	他	12	H7.3	284	S2	—	
4 佐野中学校(8棟)	校舎	10	S47.3	1,793	RC3	0.44	耐震化対応済(補強)
	校舎	17	S55.3	219	RC1	0.46	耐震化対応済(補強)
	校舎	10-5	S61.3	283	RC3	—	新耐震基準(S57年以降)
	校舎	10-6	S61.3	791	RC3	—	
	校舎	13	S48.3	3,157	RC3	0.35	耐震化対応済(補強)
	校舎	28	H19.3	1,122	S2	—	新耐震基準(S57年以降)
	体育館	30-1	H27.9	1,628	R1	—	新耐震基準(S57年以降)
	柔剣道場	26	H4.3	664	S1	—	新耐震基準(S57年以降)
5 大島中学校(10棟)	校舎	1-1	S39.3	1,677	RC3	優先度調査ランク①	耐震化対応済(解体)
	校舎	1-4	S45.3	848	RC・S3		0.26
	校舎	6	S51.5	1,278	RC3	0.34	耐震化対応済(補強)
	渡り廊下	6'	S51.5	6で計上	RC3	0.53	耐震化対応済(補強)
	校舎	11	S54.8	1,346	RC3	0.59	耐震化対応済(補強)
	校舎	14	S58.3	2,328	RC2	—	新耐震基準(S57年以降)
	校舎	14'	S58.3	14で計上	RC2	—	
	渡り廊下	14"	S58.3	14で計上	RC2	—	新耐震基準(S57年以降)
	柔剣道場	19	H5.3	615	S1	—	
	体育館	20	H26.11	1,594	R2	—	新耐震基準(S57年以降)
6 田彦中学校(4棟)	校舎	1	H4.6	7,117	RC3	—	新耐震基準(S57年以降)
	体育館	4	H4.6	1,583	RC2	—	
	柔剣道場	8	H6.3	576	S1	—	
	他	9	H10.2	373	S1	—	

耐震化状況一覧

学校名	建物区分	棟番号	建設年月	面積㎡	構造・階数	診断時耐震指標(Is値)	
7 那珂湊中学校(4棟)	柔剣道場	22	S63.1	400	S1	—	新耐震基準(S57年以降)
	体育館	24	H15.3	1,686	RC2	—	
	校舎	30	H27.2	2,727	R3	—	
	校舎	31	H27.2	3,625	R3	—	
8 平磯中学校(5棟)	校舎	1	S30.3	1,359	RC2	0.33	耐震化対応済(補強)
		1-2	S39.3	284	RC2	0.20	耐震化対応済(補強)
	校舎	7	S41.3	1,307	RC2	0.35	耐震化対応済(補強)
	体育館	10	S45.3	908	RC2	0.21	
	柔剣道場	12	S60.12	365	S1	—	新耐震基準(S57年以降)
9 阿字ヶ浦中学校(2棟)	校舎	1	S44.3	1,240	RC2	0.31	耐震化対応済(補強)
	体育館	5	S47.3	787	S2	0.37	耐震化対応済(補強)
中学校合計		58棟					

※色づけの解説

: 新耐震基準(S57年以降)又は耐震性あり若しくは耐震化対応済の建物
 : 工事中の建物
 : 耐震化工事予定建物

※用語の解説

「耐震指標」

(Is値)とは…… (1) 耐震2次診断により算出される指標で、建物の耐震性能を表す指標。
 (2) Is値は、①地震力に対する建築物の強度、②地震力に対する建築物の靱性(変形能力、粘り強さ)が大きいほど、この指標も大きくなり、耐震性能が高いことを表す。
 (3) 地震は震度6強程度を想定している。

Is値 < 0.3 : 大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 0.3 ≤ Is値 < 0.6 : 大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 0.6 ≤ Is値 : 大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

なお、文部科学省では、地震時の児童・生徒の安全性と被災直後の避難場所としての機能を考慮して、Is値を0.7以上とすることとしている。

「構造・階数」…… RC : 鉄筋コンクリート造
 S : 鉄骨造
 数字 : 地上階数

「建物区分」…… 校舎 : 普通教室棟・特別教室棟・給食棟
 渡り廊下 : 屋根・壁のある渡り廊下
 体育館 : 屋内運動場
 他 : その他の施設

「耐震化工事」…… 耐震化を行う工事であって、補強・改築・解体等の工事をいう。

「耐力度調査」…… 老朽化した建物に対して、建物の構造耐力、経過年数、立地条件などを総合的に調査し、老朽化の度合いを判定するもの。

「優先度調査」…… 建物の建築年、構造形式、コンクリート強度、耐震壁などから耐震診断実施の優先順位を判断する簡易な判定方法であり、耐震性の有無を判断するものではない。ランク①～⑤に分類。